

日本劇作家協会 2019年度(平成31年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー

- ①第25回劇作家協会新人戯曲賞
6月1日～7月1日 作品公募
7月～9月 一次審査、二次審査
12月上旬 最終候補作掲載の「優秀新人戯曲集2020」刊行
12月15日 最終選考会(公開)、受賞作発表、授賞式(於 座・高円寺)
- ②戯曲セミナー:通年講座(於 座・高円寺稽古場)
5月29日～3月4日 水曜夜の全30コマ
- ③戯曲セミナー:研修課(文化庁委託事業)
6月上旬～7月 新規研修生公募、選考
～3月 担当講師の個別指導による研修実施(継続研修生は5月から)
- ④公開講座(文化庁委託事業)
8月3日 座・高円寺2で開催

2. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(文化庁委託事業)
 - ◎東京
1)月いちリーディング:6月～2月に5回、リーディングのワークショップを開催(於 座・高円寺稽古場)
2)ドラマリーディング発表会(リーディングフェスタ):12月14日と15日(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
1)月いちリーディング:6月、9月、1月にリーディングのワークショップを開催(於 common café)
2)ドラマリーディング発表会(関西スペシャル):11月にドラマリーディング発表会を開催(於 ドーンセンター)
 - ◎神奈川
1)月いちリーディング:9月、2月にリーディングのワークショップを開催(会場未定)
 - ◎九州
1)月いちリーディング:9月、12月にリーディングのワークショップを開催(於 長崎、宮崎)
 - ◎東北
1)月いちリーディング:12月にリーディングのワークショップを開催(於 盛岡劇場・河南公民館)
- ②「劇作家と俳優のためのせりふの読み方」ワークショップ(文化庁委託事業)
→1回4日間で計2回、都内や近隣の稽古場などで開催予定

3. 劇作家大会

- ①「日本劇作家大会 2019 上田大会」を開催する
→上田市において8月16日～19日(4月にプレ事業を実施する)

4. 出版

- ①戯曲英訳出版(文化庁委託事業)
現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第5巻を3月に刊行)
- ②戯曲オンデマンド出版と戯曲デジタルアーカイブについての調査、検討を継続して行う
- ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する(年2回)

5. 震災支援

- ①「SHINSAI: Theaters for Japan」などで寄せられた義援金による基金を元に震災支援事業を行う

6. 調査、資料収集

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続

7. 協力、パートナーシップ

- ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続(12月に一次審査、1月に最終選考、3月に贈呈式)
- ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
- ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)に協力する

8. 国際交流

- ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
- ②各国(フランス、アメリカ、イギリス、中国、韓国など)と日本の相互による戯曲リーディング実施のための調査、検討を行う
- ③2015年度から開始した「海外演劇紹介プログラム」を継続する

9. 著作権

- ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
- ②「最低上演料決議」2012年度新規規定の公表と普及につとめる

10. 公益法人化

- ①公益社団法人認定のための調査・検討を進める

11. 支部

- ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施

12. その他

- ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続
- ②代議員選挙の実施(11月選挙告知、1月投票開始、2月初旬開票、代議員14名を選出)